

経営発達支援計画の遂行状況につきまして、次の通り評価致します。

## 【評価の目安】

A: 十分達成している      B: 概ね実施している      C: どちらかと言えば出来ていない

## 経営発達支援事業の内容

## 評価検討委員会総合評価

項目	委員評価	評価委員コメント
地域の経済動向分析に関すること	A	分析手段として RESAS 及び LOBO 調査を効果的に活用するとともに目標も達成できており、調査結果について管内の小規模事業者に向け広く公表されている。
需要動向調査に関すること	B	ふるさと納税に関する調査結果提供について目標未達ではあるが、提供される情報については有益なものである。調査対象や調査方法を工夫して継続してほしい。
経営状況の分析に関すること	A	Biz ミルを活用して実績を上げ、目標も達成されている。
事業計画策定支援に関すること	A	他の支援機関等と連携し、経営課題の解決に資するセミナーが実施されているとともに、各種事業計画策定について大きな成果を上げている。
事業計画策定後の実施支援に関すること	A	事業計画策定後のフォローアップは非常に重要である。実績報告後も継続フォローを行い事業所と会議所との関係性をさらに強固なものにしていただきたい。
新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること	B	各項目で概ね目標は達成されているものの、EC サイトの新規登録事業者については新たな事業者の掘り起こしが必要と思われる。
事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること	B	委員の変更等により公表時期に遅れはあったが、正常に機能している。

〈令和4年度の支援実績および評価に対する委員の総括・意見など〉

- ・他の連携機関と連携した多くのセミナーの実施は評価できるポイントである。
- ・フォローアップもしっかりと出来ている印象だが、その後のしっかりとした信頼関係の構築と新たな事業者の掘り起こしが今後のポイントである。
- ・令和4年度は「コロナ」「円安」「物価高騰」「ウクライナ情勢」など、舵取りが非常に難しかった中、他の支援にも取り組みかつ経営発達支援計画もしっかりと取組んでいる点は評価できる。
- ・コロナ禍において「漫然とコロナが過ぎるのを待っていた企業」と、「自社の経営課題に積極的に取り組んだ企業」との差がハッキリと出て来ている。
- ・事業主に、「気づきを与え」「事業計画を策定し」「長期的な支援に繋げ」「自走化に繋げる」支援が求められていると感じる。
- ・事業継続においては資金繰りが重要なポイントであるため、金融支援にも金融機関と連携し、しっかりと取り組んで欲しい。

以上